株式会社さじ弐拾壱経営状況報告書

1　法人の概要

（1）名　　称　　株式会社さじ弐拾壱

（2）目　　的　　過疎化に伴い、農林業をはじめ地場地域産業の従事者の高齢化および、後継者不足が顕在化し、農林地の荒廃、離農などの農林業の衰退傾向が続いている佐治村(現:鳥取市佐治町)で、地域住民の生活を守り、地域産業の振興を具体的なものとするため、行政や地元企業をはじめ多くの方の出資のもと設立。

（3）設 立 年 月 日　　平成７年１月３０日

（4）資　本　金　　金３０，０００，０００円（うち鳥取市出資金１６，５００，０００円）

（5）役　　員　　取　締　役　９名
監　査　役　２名
代 表 取 締 役　茂上　正道

（6）事　務　所　　鳥取市佐治町加瀬木２５１９番地３

2　令和４年度経営概要

株主と地域住民の期待と信頼に応える為、各事業が計画達成へ努めてまいりました。

長期化する新型コロナウイルス感染症による外食産業の消費減少を受けた米価の下落、たんぽり荘における団体客の減少、光熱水費・物価高騰など厳しい状況ではありましたが、除雪作業の増加、感染防止対策を講じた施設運営による利用率の向上、経費削減に努めたことで、利益を確保することができました。また、積極的な研修参加、資格取得による職員の能力向上、ルーティン業務の見直しや効率的な人員配置、経費管理の徹底による筋肉質な経営体質に向けた取り組みを行いました。

令和４年度の事業結果としましては、計画５２，１２９千円に対して７１，２５４千円の収入実績（計画比１３７％）となり、最終的に当期純利益は５，５１３千円の黒字となりました。

以下各事業の経過を報告いたします。

（1）農林事業

作業収入２４，１８３千円の計画に沿って事業促進してまいりました。

農作業受託・農地維持管理事業では、長年の赤字経営を改善すべく、維持管理料の新設や消耗品などの経費削減、細目なメンテナンスによる修繕費削減、効率的な事業構成や人員配置を行うなどの経営の健全化へ向けた取り組みを行いましたが、収入保険などの雑収入を除けば１６０千円の赤字となりました。引き続き、経営改善に努めて参ります。

道路管理部門では、作業員の確保に努め、受託体制を維持・強化を行い、除雪作業や凍結防止剤散布作業の増加によって利益を確保することができました。

農林事業全体では、２４，１８３千円の計画に対し４０，３０３千円の収入実績となり計画比１６７％となりました。

（２）観光事業

営業収入１８，６８３千円の計画に沿って事業推進をしてまいりました。

山王谷キャンプ場・たんぽり荘の運営では、新型コロナウイルス感染症の影響による団体客の減少や光熱水費・物価高騰など難しい施設運営となりましたが、インターネット予約システムによるファミリー層の獲得や、キャンペーンの活用を行い、利益を確保することができました。

佐治町Ｂ＆Ｇ海洋センター・佐治町多目的運動広場管理業務では、地域の方々の健康増進や居場所となるような施設運営を心掛け、Ｂ＆Ｇ財団と連携した事業を積極的に行い、念願のＢ＆Ｇセンターインストラクターの資格取得したことで、事業評価「特Ａ」を得ることができました。

特産品部門におけるどぶろく製造では、人員体制が整わず製造期間が限られたことで、製造量は減少しました。新製造場における効率的な製造とインターネット販売に加えて、販売期間の延長を視野に入れ製造・販売量増と利益の確保に努めてまいります。

観光事業全体では、１８，６８３千円の計画に対し２０，０１２千円の収入実績となり計画比１０７％となりました。

（３）その他事業

営業収入９，５０６千円の計画に沿って事業推進をしてまいりました。

買い物福祉サービス支援事業では、トスク佐治店閉店や移動販売事業者の撤退などもあり、地域の方々のニーズに対応するべく、丁寧な対応を心掛け、担当課と連絡を取りながら事業を実施したことでご好評いただきました。

切手・ゆうパック事業では、梨農家の減少による進物取り扱い数の減少はあるものの、的確な人員配置による経費削減を行い事業を実施いたしました。

その他、地域に根差した企業の役割として、小中学校におけるキャリア学習の講師派遣や体験受け入れなど郷土愛を育む教育への協力を行い、また働きやすい職場環境づくりに取り組んだことで鳥取県男女共同参画推進企業に認定されました。

その他事業全体では、９，５０６千円の計画に対し９，８９２千円の収入実績となり計画比１０４％となりました。

貸借対照表

株式会社　さじ弐拾壱

令和 5年 3月31日 現在　　単位：円

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】	【 48,837,200】	【流動負債】	【 5,019,200】
現金	105,000	未払金	2,980,132
預金	44,173,441	未払法人税等	104,300
売掛金	1,294,650	預り金	321,568
商品	397,313	未払消費税等	1,613,200
貯蔵品	8,627	負債合計	5,019,200
前払費用	23,190		
未収入金	2,841,979		
貸倒引当金	△7,000	純資産の部	
【固定資産】	【 5,108,361】	【株主資本】	【 48,926,361】
(有形固定資産)	(5,035,561)	資本金	30,000,000
建物附属設備	771,156	(利益剰余金)	(18,926,361)
機械装置	616,023	その他利益剰余金	18,926,361
車両運搬具	3,008,678	繰越利益剰余金	18,926,361
工具器具備品	462,603		
一括償却資産	177,101		
(無形固定資産)	(72,800)		
電話加入権	72,800	純資産合計	48,926,361
資産合計	53,945,561	負債・純資産合計	53,945,561

損益計算書

株式会社　さじ弐拾壱

自 令和 4年 4月 1日
至 令和 5年 3月31日

単位：円

科目	金額	
【売上高】		
売上高	47,851,106	
委託料収入	14,914,540	62,765,646
【売上原価】		
期首棚卸高	521,371	
仕入高	6,773,653	
＊＊合計＊＊	7,295,024	
期末棚卸高	△397,313	6,897,711
売上総利益金額		55,867,935
【販売費及び一般管理費】		
役員報酬	1,201,500	
給与手当	23,977,234	
法定福利費	3,053,976	
福利厚生費	1,447,597	
外注工賃	268,161	
旅費交通費	555,691	
通信費	656,363	
交際費	90,827	
減価償却費	3,043,648	
賃借料	342,595	
保険料	3,455,462	
修繕費	3,142,169	
水道光熱費	2,853,920	
車輌関係費	2,259,258	
消耗品費	1,282,434	
租税公課	3,551,150	
広告宣伝費	78,636	
支払手数料	902,419	
諸会費	101,720	
リース料	1,677,133	
会議費	55,504	
雑費	213,511	54,210,908
営業利益金額		1,657,027
【営業外収益】		
受取利息	467	
補助金収入	3,224,625	
雑収入	4,843,396	8,068,488
【営業外費用】		
雑損失		1,228,247
経常利益金額		8,497,268
【特別利益】		
固定資産売却益	467,168	
貸倒引当金戻入益	77,000	544,168
【特別損失】		
固定資産圧縮損		1,920,000
税引前当期純利益金額		7,121,436
法人税、住民税及び事業税		1,607,967
当期純利益金額		5,513,469

令和５年度事業計画

令和５年４月　１日から
令和６年３月３１日まで

［基本方針］

コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進みつつある中ではありますが、世界的なエネルギー・食料価格の高騰や欧米各国の金融引締め等による世界的な景気後退懸念など、日本経済を取り巻く環境には厳しさが増しております。

佐治地域においても、過疎・高齢化をはじめ地域を取り巻く課題は待ったなしの状況であり、地域住民の皆様の生活を守るため、丁寧かつスピード感のある事業活動を展開してく必要があります。あわせて、急激な社会変革の時代に適応した持続可能な企業であるために、財務の健全化に向けた改革を進めるとともに、強固な経営体質づくりを目指し、役職員一丸となり、地域住民及び株主の皆様の期待と信頼に応えられる事業体制の構築に努めてまいります。

［事業実施方針］

佐治町内を中心とした地域振興及び産業振興事業の推進

１．農林作業受託事業の推進
２．関係住民及び団体等からの受託事業
３．指定管理施設の管理受託事業
４．公共施設の維持管理受託事業
５．農林水産物の生産及び販売事業
６．買い物福祉サービス支援の推進
７．その他各種受託事業の推進

［事業実施計画］

１．農林事業

農作業部門における農地保全の取組のなかで、遊休農地の維持管理における維持管理料および中山間地域直接支払制度の活用、業務内容の整理、人員配置など見直すことで収支改善に努める。機械のオペレーション技術の向上と細目なメンテナンスを行うことで修繕費を抑える。収益部門である竹林整備事業及び道路管理受託に於いては作業員の確保に努め、事業の拡大を図る。

２．観光事業

山王谷キャンプ場・たんぽり荘管理運営では、インターネット予約システムやＳＮＳを積極的に活用した一般ファミリー層の獲得、小中学校の体験学習の取り込みによる平日の施設稼働率向上を図る。また人材育成に努め、適正な人材配置を行うことで、繁忙期の施設管理・体験部門の強化による収益増、利用者の満足度向上とともに、町内団体と連携し佐治町の観光振興に繋げる。

佐治町Ｂ＆Ｇ海洋センター・佐治町多目的運動広場管理運営業務ではＢ＆Ｇ財団の事業を積極的に活用し、佐治地域の健康増進、スポーツ振興に取り組む。

特産品販売部門におけるどぶろく「どんでん返し」の製造・販売では、ふるさと納税・オンラインショップなどを活用したインターネット販売の強化と、販売期間の延長による製造数量増加と、佐治町の特産品としての認知度向上を図る。

３．その他事業

ゆうパック事業では、梨農家減により進物の集荷個数は減少傾向であるが、チラシ配布による再ＰＲと、繁忙期における的確な人員配置による経費削減で利益の確保を図る。

買い物福祉サービスでは、需要が増えている高齢者の見守り活動を推進するとともに、業務内容の工夫と効率化によって収支の改善を図る。

［総務管理方針］

１．経営管理の重点事項

（１）財務管理

①自己資本の充実を図るため、資金の内部留保と諸引当の完全引当に努める。

②在庫品の圧縮と資金回転率の向上。

③不採算部門の改善。

（２）経営管理

①部門別責任を明確にし部門採算の確立に努める。

②経営検討委員会及び取締役担当の３つの部会を定例開催し管理の徹底を図る。

③業務、事務の合理化、適正配置、労務率の改善を図る。

（３）人事労務管理

①職場内教育体制を整備し、人材育成を推進し、信頼される社員を養成する。

②責任権限の明確化、職場規律、職場倫理を確立する。

③働きやすい職場環境を整え、会社の生産性向上へ繋げる

２．設備計画（予定なし）　（単位：千円）

施設機械名	規格	台数	取得予定金額	備　考
－	－	－	－	－

３．自己資本充実計画　（単位：千円）

	前期末実績	本期末計画	備考
資本金	30,000	30,000	
当期純利益金	5,513	130	
繰越利益剰余金	18,926	19,056	
純資産合計	48,926	49,056	

令和５年度収支計画

１．収入の部　　（単位：千円）

項目			本年計画（①）	前年計画（②）	増減（①-②）	備考
農林	農作業合計		8,456	12,334	▲ 3,878	
		水稲受託	4,957	5,468	▲ 511	田植え5ha,稲刈8.7ha / R4×95% ＋農地維持管理料
		果樹受託	1,796	2,051	▲ 255	R4×80%
		水稲経営	869	980	▲ 111	[R5]1.5ha/[R4]2.0ha
		雑収入	850	1,603	▲ 753	収入保険ほか
		補助金	0	2,200	▲ 2,200	
		棚卸差額	▲ 16	32	▲ 48	R4実績並みで計画
	森林作業		500	749	▲ 249	
		竹林整備	500	749	▲ 249	［R5］作業面積0.3ha［R4］作業面積0.43ha
		雑収入	0	0	0	
	道路管理合計		13,612	14,457	▲ 845	
		市有地管理	3,840	4,279	▲ 439	鳥取市　見積提出したものを計画
		除雪	9,632	9,477	155	除雪車全機出動6回（180H）、凍結防止剤散布60日
		水道検針	0	568	▲ 568	R4年度で終了
		雑収入	140	133	7	除雪機械運転手育成支援事業1名
	精米機管理		884	996	▲ 112	R4実績並み
	その他受託		909	692	217	R4実績並み
	農林事業合計		24,361	29,228	▲ 4,867	
観光	たんぽり荘合計		7,188	6,833	355	
		利用料	3,900	3,545	355	利用者数(R5計画3,201人/R4計画２,687人)
		指定管理料	3,288	3,288	0	
	BG		10,910	10,922	▲ 12	
		利用料	330	359	▲ 29	R5計画9,900人(R4年並み)
		指定管理料	10,380	10,380	0	電気料金補填分減
		雑収入	200	183	17	自販機売上、B&G塾助成金
	特産品合計		585	560	25	
		どぶろく販売	585	585	0	販売本数（R5計画350本/R4実績300本）
		棚卸差額	0	▲ 25	25	
	観光事業合計		18,683	18,315	368	
その他	買い物支援		6,521	6,337	184	
		売上	4,030	3,826	204	見守り件数290件（R4年並み）
		補助金	2,500	2,500	0	
		棚卸差額	▲ 9	11	▲ 20	R4実績並みで計画
	切手・ゆうパック		2,351	2,618	▲ 267	取扱数（R5計画1,400個 / R4実績1,470個）95%で試算
	事務受託・その他合計		562	551	11	
		土地改良区	500	550	▲ 50	事務委託費5万減
		利息	1	1		
		雑収入	61	0	61	R4実績並みで計画
	その他事業合計		9,434	9,506	▲ 72	
総合計			52,478	57,049	▲ 4,571	

２．支出の部　　（単位：千円）

項　目	本年計画 (①)	前年計画 (②)	増減 (①-②)	備　考
役員報酬	1,260	1,700	▲ 440	代表取締役、役員（農作業・除雪など出勤分）
給与	16,378	16,279	99	常勤職員
賃金	5,912	6,988	▲ 1,076	臨時雇用職員（除雪作業量減見込）
法定福利費	2,430	3,190	▲ 760	社会保険料
福利厚生費	1,018	274	743	中退共、除雪作業免許取得10万
租税公課	2,954	2,800	154	消費税ほか
水道光熱費	3,039	2,526	512	電気、水道代、ガス、灯油
旅費交通費	159	425	▲ 266	取締役会旅費　BG会議出張旅費
通信費	678	635	43	電話、インターネット、コピー代、切手代
宣伝広告費	17	28	▲ 11	チラシ印刷、折込
接待交際費	95	81	14	農作業受託における株主割引
会議費	56	110	▲ 54	株主総会費用
損害保険料	1,173	1,094	79	自動車保険・施設来場者保険・倒産防止共済［R4年］240万→［R5計画］未計上
修繕費	2,873	2,001	871	［R5計画］農機具点検・修繕費100万、除雪修繕30万、指定管理施設小規模修繕90万、施設点検40万
消耗品費	958	1,093	▲ 135	［R５計画］たんぽり荘消耗品分減
外注工賃	167	295	▲ 128	ヘリ農薬散布、その他事業外注費減
支払手数料	848	746	102	JAライスセンター手数料20万、サイト手数料12.5万(たんぽり、特産品)、税理士23万、労務士13万など
車両費	2,178	2,140	38	燃料費、除雪作業量で試算
リース料	158	1,135	▲ 977	コピー機15.8万　●リース終了…コンバイン、畦塗機、サイバーハロー、ダンプ、製氷機、冷凍庫
諸会費	92	128	▲ 36	R4年実績並みで計画
賃借料	342	456	▲ 114	JA選果場27,5万、個人トラクター借上８万、個人乾燥機借上
雑費	221	207	14	ダスキン、ごみ処理費用など
雑損失	509	2,105	▲ 1,596	除雪作業による修繕（作業量より試算）
減価償却費	2,385	3,584	▲ 1,199	3tダンプ100万増、6tローダ▲96万、回送車▲75万
貸倒引当金	78	78	0	R4年並みで計上
法人税等	246	209	37	所得によって変動
仕入	6,127	6,542	▲ 415	苗、農薬、たんぽり食材、買い物支援
総　合　計	**52,348**	**56,849**	**▲ 4,500**	

収入－支出	**130**	**200**	**▲ 71**	